



▲どんなに激しいタックルでも微動だにせず



▲応援大使のタスキも特大サイズ

「王道プロレス」を動画で見よう!!
スマートフォンでアプリを起動し、この写真にかざしてください



香取市応援大使委嘱式・王道プロレス

不動の横綱、大使に就任

3月5日、第64代横綱の曙太郎さんへの香取市応援大使委嘱式が行われました。曙さんは、合併以前から香取地域の幼稚園や学校、福祉施設などへの数多くの慰問や、市の行事への参加などで、これまでも福祉、教育、青少年の育成にご尽力いただきました。今後は応援大使として、各種行事などで引き続きご協力いただきます。

また、委嘱式とともに曙さんが代表を務めるプロレス団体「王道」のチャリティープロレスショーも開催。マットに轟音を響かせてさく裂するプロレス技の数々に、観客は大興奮の様子でした。曙さんの試合では、相撲勝負を挑んできた敵レスラーを豪快に投げ飛ばす姿に拍手喝采。曙さんの2mを超える巨体に、相手も思わず「デカすぎる!」と絶叫していました。



▲子どもたちにプレゼントも

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します



小江戸サミット2017

江戸の気風に思いを馳せて



▲手踊りでおもてなし

香取市、川越市、栃木市は江戸との「舟運」で栄え、江戸情緒を残す「蔵造りの町並み」と江戸天下祭の影響を受けた「山車祭り」があることから、小江戸と呼ばれています。3市は平成8年以降、小江戸をキーワードに交流を続け、2月19日にも与倉屋大土蔵でサミットが開催されました。講演したのは瀧島有さんで、江戸文化を色濃く受け継ぐ小江戸の、かつての生活風景をコミカルに話して関心を集めたほか、桂右女助師匠が登壇し、巧みな話術で場内に集まった3市の観客を沸かせていました。

鹿島神宮祭頭祭 廻り祭頭

鹿島の勇姿、ご覧あれ

鹿島神宮で五穀豊穡と繁栄を願って行われている「祭頭祭」の「大総督」に田中蓮珠くん（大根）が選ばれたことから、2月19日に西蔵院（大根）と香取神宮でお囃しが奉納されました。祭頭祭は鹿島神宮の祭事でも最も勇壮な祭り。威勢の良いかけ声と太鼓が鳴り響く中、囃人と呼ばれる鮮やかな衣装を着た男女が円陣を組み、カシの棒を組み合わせながら囃したてます。

香取神宮には、31年ぶりに奉納される祭りを一目見ようと多くの観客が訪れ、囃人たちを興味深げに見ていました。



▲作りこまれた衣装も見どころの一つ

「大図」が「大使」で全国行脚



▲道南部分を説明する記念館学芸員（写真左）

2018年の伊能忠敬没後200年に向けた記念事業として、伊能大図パネルを香取市の友好都市などへ貸し出す事業が始まりました。

初回は、ふれあい交流協定を締結した茨城県つくばみらい市へ大図を派遣。つくばみらい市は伊能忠敬と交流関係にあった間宮林蔵の出身地でもあり、ゆかりの深い北海道部分の地図は「伊能大図フロア展」として2月18・19日に伊奈公民館、3月4・5日には谷和原公民館で展示され、約350人が訪れました。大図は伊能忠敬が全国を回って作成した縮尺36,000分の1の地図です。このフロア展では伊能忠敬記念館学芸員が講師を務め、公民館のホールいっぱいに広げられた大図の原寸大の複製パネルの上を移動しながら説明しました。参加者は、地図の大きさに驚きながら、間宮林蔵の協力無くしては実現が難しかった北海道での測量の話に耳を傾け、地図をのぞき込んでいました。

平成29年度は、引き続き全国の友好都市などへパネルを派遣し、平成30年度には、市内で全国分のパネル展示が予定されています。

市長日誌

3月15日までの主な行動	
2日(木) 北総東部土地改良区理事会	8日(水) 市議会3月定例会予算審査特
3日(金) 木内大神例大祭	10日(金) 別委員会
4日(土) 小見川高校卒業式／香西地区 区長会・消防団合同総会	9日(木) 佐原高校定時制卒業式
5日(日) 曙氏 香取市応援大使就任式	10日(金) 香取の地酒(夢遥) 利き酒会
6日(月) 市議会3月定例会本会議一般	11日(土) 佐原第五中学校卒業式
7日(火) 質問	12日(日) 発酵の里こうざき酒蔵まつり
	14日(火) 小見川総合病院医局会／河川 情報センター通常理事会
	15日(水) 自衛隊新規入隊者激励会

2年越しの思いが形に



▲焼失前の形を再現した社殿

平成27年1月10日未明に発生した火災により、社殿が焼失してしまった境宮神社（一ノ分目）。地域の心のよりどころであった神社の焼失に心を痛めながらも、火災当日に片付けに集まった住民たちからは、「絶対に再建する」という言葉が出ていたそうです。その強い思いが火災のわずか2カ月後に再建復興委員会を発足させ、写真や記憶を基にした再建活動が始まりました。

2月25日に行われた竣工奉告祭ではそうした住民の思いと努力が形となった立派な社殿、神輿、神楽面が披露され、集まった約40人の氏子たちはみな感慨深げに神事に参列。委員会会長の篠塚正洋さん（一ノ分目）は「立派な社殿に負けないよう自分たち住民の意識を変えて地域の伝統を守り育てていきたい」と話し、年6回行われる神事の実施に向け一段と気を引き締めていました。



▲再現された神楽面を手に取り笑みがこぼれる



やさしい茶道教室は、小中学生を対象に平成15年に歩み始めました。子どもたちは最初、礼儀作法と聞いて堅苦しくなりませんが、おいしいお菓子とお茶を

いただくといつの間にか作法が身に付き、だんだんと楽しみながら稽古に来るようになります。平成28年からは一般の教室も開き、初めての人や、かつて少し経験したという人が通っています。

男性、女性、若い人や年配の人など、どなたでも、表千家の茶の湯に触れて一緒に楽しみませんか？ 使用する道具は用意してありますので、気軽に参加できます。小中学生の皆さんももちろんお待ちしています。

また、水郷おみがわ桜つつじまつりや5月の文化協会展、11月の市民文化祭で茶会体験も行っていますので、興味がある人は、ぜひお越しください。

わ和輪 サクル 仲間

ほっと、一服。

やさしい茶道教室

■活動日時 毎月第1土曜日
小中学生：10時～11時、一般：13時30分～15時
■活動場所 小見川市民センター「いぶき館」
問い合わせ 部長 八角 電話 (83) 1612